



WORLD CHAMPIONSHIP
IN DENMARK COPENHAGEN

自己紹介



名前 横地泰河

年齢 16歳

学校 愛知県立名古屋西高等学校

趣味 自転車に乗ること 温泉 古着巡り

目次

- **BMXレーシングの世界選手権とは**
 - **大会の結果と反省**
 - **コペンハーゲンはどんなところ**
 - **異文化交流**
 - **これからのBMX人生**
-

BMXレーシングの世界選手権とは

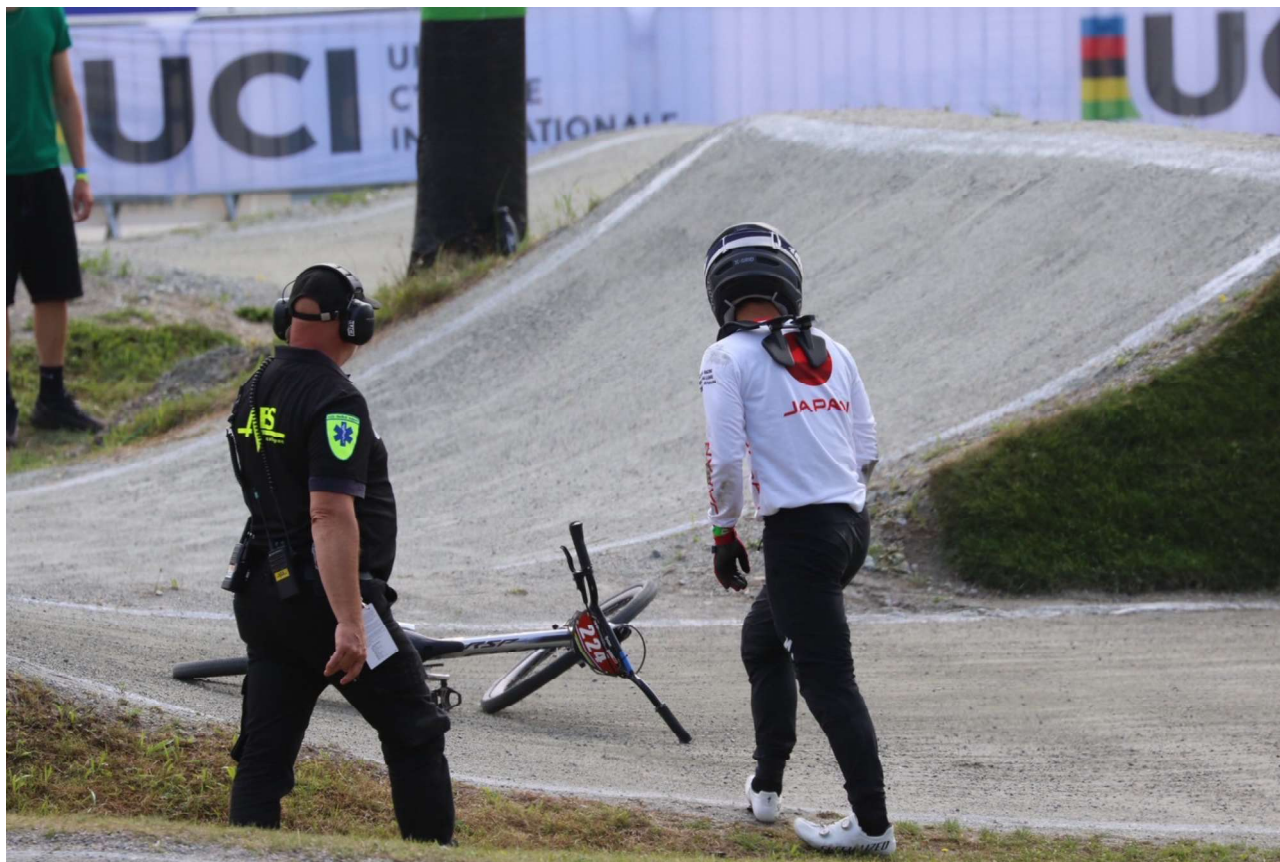
BMXレーシングの世界選手権とは、世界46カ国、3,313名が一つの会場に集まり、各クラスの世界1を競い合う大会である。またこの大会には、各国でそれぞれの条件をクリアし、選ばれた選手が出場し、世界最高峰のレベルの一年に一回開催されるビッグイベントである。



大会結果と反省

クルーザー(24inch)

予選敗退



クルーザーは、予選で転倒してしまい、次のステップに進むことができなかった。気持ちの面で焦っていたところもあるし、技術の無さが目立ったレースであったが、本命の20inchiのレースで使う良い学びができた。

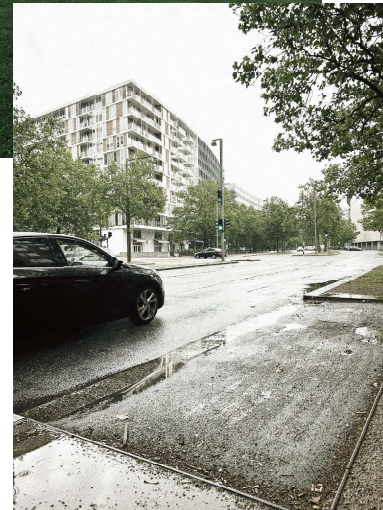
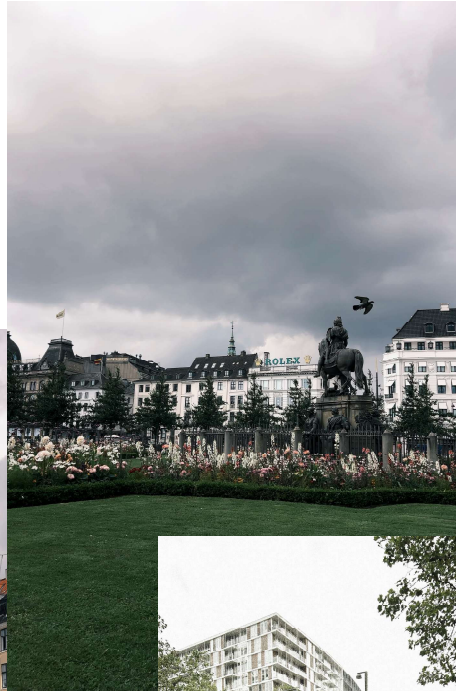
20inch

1/16ファイナル敗退



20inchiでは、クルーザーでの反省を活かしながらかなり落ち着いて走ることができた。ラインどり一つ違うだけで順位が大きく変わるこのコースでミスをしてしまい、4位以内に入ることができなかった。ただ、考えながら落ち着いた走りができ、悔いはない。

コペンハーゲンはどこなところ



コペンハーゲンは、かなり涼しいが、雨が降りやすい。また、多くの観光地があり、the ヨーロッパという感じだった。治安も良く、みんながみんなとても優しいのですごく住みやすい街だと思った。

7.異文化交流

BMXの世界選手権には、ジャージ交換の文化がある。自分の持っているジャージと交換するのだが、今回、オランダ、デンマーク、フランスの国の人とジャージを交換してもらった。

またBMXには「bmx family」という言葉があり、自転車を持っていれば同業の方から「Where are you from?」や「How old are you?」など話しかけられたりし、そこから話が盛り上がっていくのがBMXの良い文化である。



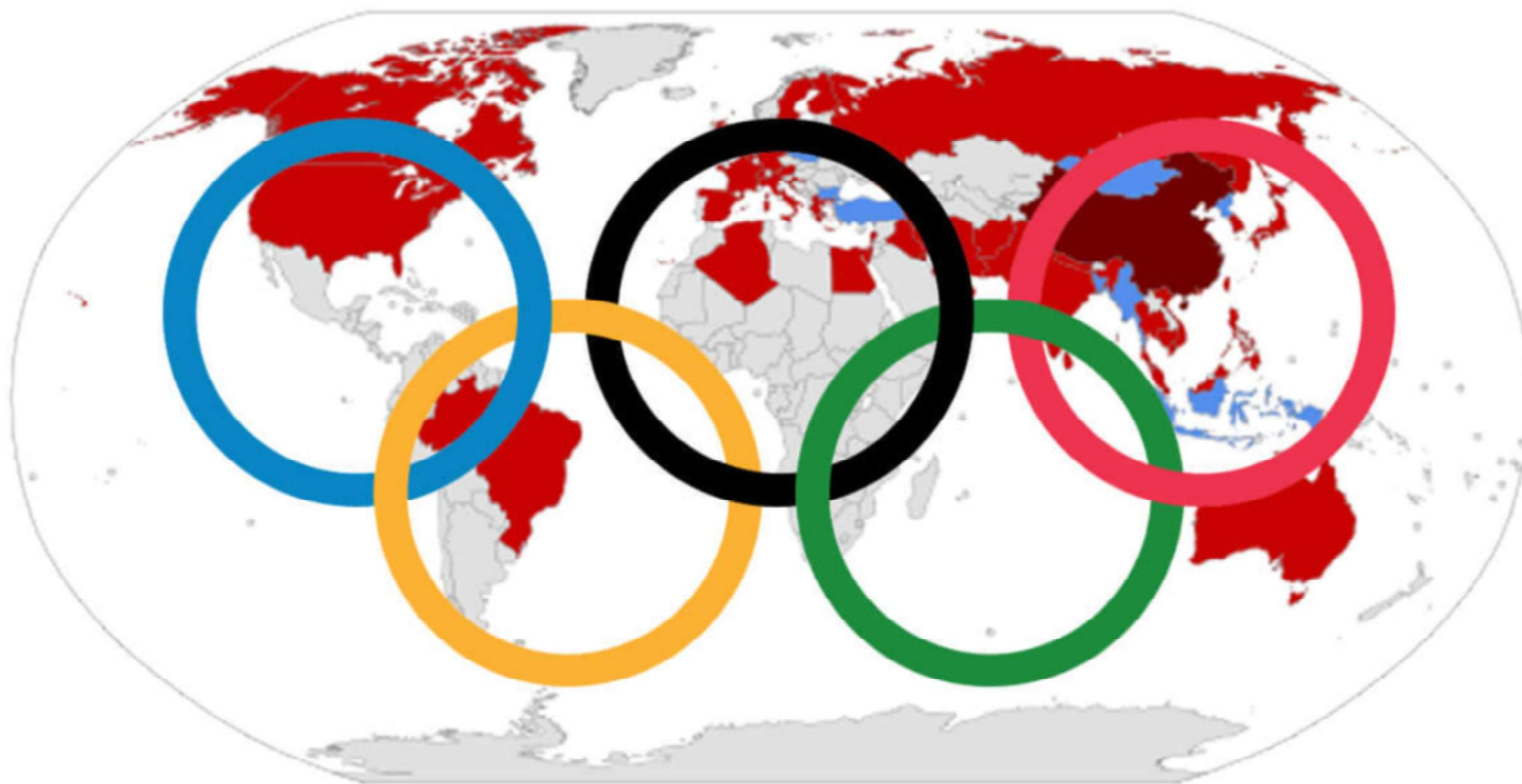
これからのBMX人生

世界選手権以降敗北の悔しさから努力を今まで以上に積み重ねた。
名古屋市中村区に作られた「Nagoya Keirin Bmx」にて日々練習をした

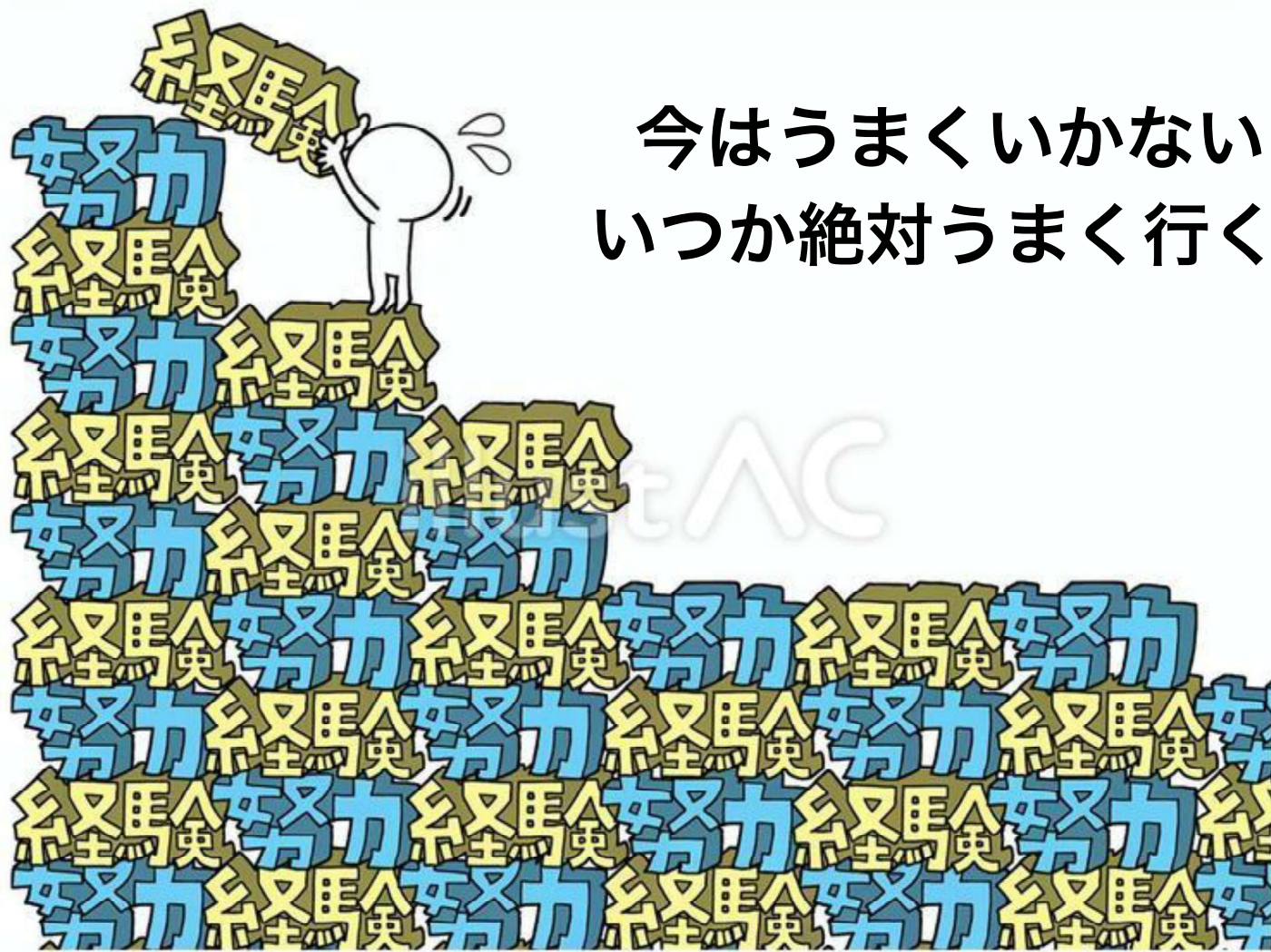


2025
JAPAN NATIONAL
CHAMPIONSHIPS
BMX RACING





2032 ブリスベンオリンピック 出場を目指す！！



今はうまくいかないとの方が多いけど
いつか絶対うまく行くと信じて努力します！



FIN